

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	百舌鳥古墳群を活用した都市魅力の創造												
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)												
交付対象	堺市												
計画の目標	百舌鳥古墳群は、都市化の進展などによってその多くが失われたものの、現在も4世紀後半から6世紀前半に造られた44基の古墳が残っている。その中には、世界最大級の墳墓である仁徳天皇陵古墳をはじめとする巨大古墳が含まれており、日本を代表する古墳群である。本市では、歴史と文化を活かしたまちづくりを進める一環として、百舌鳥古墳群の世界文化遺産登録に向けた取組を進めているが、来訪者の増加等に備えた環境の整備が未だ不十分な状態である。本計画では、百舌鳥古墳群を活用した周遊ルートの形成や受入環境整備を行い、まちの賑わい創出と都市活力の向上を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,556	A	1,556	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	堺観光ボランティアガイドの件数(仁徳天皇陵古墳拝所前)を33,008人/年(H26)を40,600人/年(H32)に増やす。 1年間における堺観光ボランティア協会による、仁徳天皇陵古墳拝所前でのガイド数	H26 33008人/年	H30 36804人/年	H32 40600人/年
2	JR百舌鳥駅の乗降客数(定期利用外)を439,000人/年(H25)を540,000人/年(H32)に増やす。 1年間におけるJR百舌鳥駅の乗降客数のうち、定期利用を除いた数	439000人/年	490000人/年	540000人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
1年間におけるJR百舌鳥駅の乗降客数のうち、定期利用を除いた数の当初時期はH25。												

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	堺市	直接	堺市	-	-	百舌鳥古墳群周辺地区都市再生整備計画事業	A = 約607ha	堺市						1,556		-	
												小計						1,556		
												合計						1,556		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
堺市	令和8年2月
	公表の方法
	市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・百舌鳥古墳群の中で2番目に大きい履中天皇陵古墳の北側に、そのスケールの大きな景観を楽しむことができる視点場を整備することで、巨大古墳を体感し、楽しみながら周遊できる環境を整えた。</li> <li>・百舌鳥駅近傍に周辺案内、資源解説を掲載する総合的な案内サインを設置した。</li> <li>・百舌鳥古墳群周辺地区の周遊路に、来訪者に分かりやすく、地区内の歴史文化資源について必要な情報を得ることができサインを体系的で統一感ある形で整備したことにより、安心して周遊できる環境を整えた。</li> <li>・古墳群の価値と魅力を体感し、学べる施設として、(仮称)百舌鳥古墳群ガイダンス施設を整備した。(百舌鳥古墳群ビジターセンター)</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	
特記事項(今後の方針等)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・来訪者の増加が持続的なものとなるよう、現地で古墳を楽しめる新たな環境整備を計画的に行う。</li> <li>・整備したサインの適切な維持管理を行う。また、百舌鳥古墳群の周遊を促すマップの配布や世界遺産周遊アプリのダウンロード促進により、ハード面以外のソフト面の周遊環境も整える。</li> <li>・百舌鳥古墳群ビジターセンターの施設整備後もより多くの方に来館いただくため、展示の工夫やイベントを開催する。また、周辺施設との周遊を促すための情報発信を行う。</li> <li>・鉄道による来訪者が周遊しやすい環境を整備することにより、鉄道利用による来訪を促進する。JR百舌鳥駅定期外利用の指標は、H25(目標設定時)~R1(コロナ発生前)の平均値433と最新のR5の369を比較すると約15%減少している状況である。堺市の各駅の定期外利用の低下がコロナ前と比較して8%程度となっていることを踏まえ、コロナ前の平均値433×0.92=398の達成をめざす。また、あわせて他の交通手段も含めた来訪者が増加するよう、百舌鳥古墳群ビジターセンターへの来訪者を増加させる取り組みや、周遊を促すウォーキングマップの配布、世界遺産周遊アプリの運用と周知等に取り組む。</li> </ul>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	堺観光ボランティアガイドの件数		
	最終目標値	40600人/年	堺観光ボランティアガイド件数は、H26年度33,008、H27年度49,875、H28年度41,252、H29年度48,636、H30年度46,972、R1年度96,786、R2年度16,258と推移した。R1年度には96,786と目標値を大きく上回ったが、R2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で大きく減少し、結果的に目標値も下回った。
最終実績値	16258人/年		
2	JR百舌鳥駅の乗降客数（定期利用外）		
	最終目標値	540000人/年	JR百舌鳥駅の乗降客数（定期外）は、H26年度435、H27年度436、H28年度429、H29年度423、H30年度422、R1年度448、R2年度274と推移した。R1年度は微増の448となったが、R2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で大きく減少した。
最終実績値	274000人/年		